

# 「緑茶と健康シンポジウム」開催要領

## 1 趣旨

緑茶は、美味しい飲み物であるとともに、身体に良いとされる成分を豊富に含み、養生の仙薬として長い間飲み続けられています。

私達は、昨年からはまった新型コロナウイルスの感染拡大によって生活を脅かされ、不安な日々を送っています。そのような中、緑茶はインフルエンザウイルスへ効果がわかっていることから複数の研究機関が緑茶の新型コロナウイルスへの効果について研究に取り組んでおられます。

そこで、緑茶の飲用が新型コロナウイルス感染抑制につながる可能性について考える「緑茶と健康シンポジウム」を開催し、緑茶の需要拡大につなげます。

## 2 開催時期及び方法

(1) 開催時期 令和3年4月15日(木) 13:30~16:00

(2) 開催方法

- ・会場: 宇治茶会館(宇治市宇治折居 25 番地2)  
会場では、基調講演、パネルディスカッション(一部オンライン)を開催  
報道記者は会場にて質疑応答を含め取材可(50名限定)  
一般参加は、zoomによる配信(400名先着・会場参加は不可)

## 3 主催・共催・協力機関(予定)

- ・主催: 京都府
- ・共催・協力機関  
静岡県、鹿児島県  
(公社)日本茶業中央会、(公社)京都府茶業会議所、(公社)静岡県茶業会議所、  
(公社)鹿児島県茶業会議所

## 4 内容

- (1) 基調講演「緑茶のインフルエンザ予防効果に関する研究について」  
講師: 静岡県公立大学法人 静岡県立大学健康支援センター長 山田 浩氏

## (2) パネルディスカッション

◆テーマ 「緑茶の新型コロナウイルスに対する効果について」

◆パネラー

・京都府公立大学法人 京都府立医科大学 副学長 松田 修 氏  
(緑茶と新型コロナウイルス研究を実施)

・国立大学法人 京都大学ウイルス・再生医科学研究所感染症モデル研究センター  
准教授 三浦 智行 氏  
(京都府茶業研究所と連携し、新型コロナウイルスの疑似ウイルスによる試験を実施)

・独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター  
センター長 西村 秀一 氏  
(新型コロナウイルスの緑茶カテキン類の効果に関する研究成果を公表)

・静岡県公立大学法人 静岡県立大学健康支援センター センター長 山田 浩 氏  
(基調講演演者)

・京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所 技師 北尾 悠樹 氏  
(緑茶の化学成分について研究、新型コロナウイルス試験では、京都大学と連携)

◆コーディネーター:

学校法人永守学園 京都先端科学大学バイオ環境学部 教授 藤井 孝夫 氏

((公社)京都府茶業会議所理事、宇治茶伝道師。大学では宇治茶生産学を担当)

## 5 申込方法

(1) 一般参加希望者は、令和3年4月9日(金)午後5時までに別紙申込様式1に従い、申し込む。定員は400名とし、先着順に受け付ける。

(2) 報道各社の記者は、令和3年4月9日(金)午後5時までに別紙申込様式2に従い申し込む。定員は50名とし、先着順に受け付けるが、申込が多数になった場合は、1社あたりの参加者を制限し、調整する場合がある。

シンポジウム後の会場での個別取材は午後4時30分まで。

参加者は、マスクを着用し、体調管理、会場入り口での体温測定、アルコール消毒等、新型コロナ感染症対策を徹底すること。

## 6 その他

(1) zoom を視聴するための通信費等は参加者負担とするが、視聴は無料とする。

(2) 配信画像の録画、録音、写真撮影等は固くお断りする。

(3) 一般参加者からの質問は受け付けない。